

■スウェーデン：ストックホルム近郊の高速道路に EV 給電道路が開通

2018 年 4 月 13 日の報道によると、スウェーデンではストックホルム近郊で走行中の EV に電気を供給することが可能な EV 給電道路が開通した。今回開通したのはストックホルム近郊の高速道路でアーランダ空港から倉庫エリアまでの約 2km となる。給電の仕組みとしては道路に路面レールを敷設し、レールと EV 間で接触給電を行うもので、実車版スロットカーのような仕組みを採用している。走行中に充電を行うことで、長距離走行をする場合でもバッテリー切れを起こすことがなくなり、また、EV に搭載する蓄電池の容量低減も期待されている。スウェーデンには 2 万 km の高速道路があり、プロジェクトを推進する eRoadArlanda コンソーシアムは高速道路の EV 給電化を検討している。